



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月26日

上場会社名 株式会社 アイティフォー

上場取引所 東

コード番号 4743 URL <http://www.itfor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東川 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 中山 かつお

TEL 03-5275-7841

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,226	34.9	245	72.1	249	19.4	144	△1.9
23年3月期第1四半期	1,650	△10.9	142	△29.5	208	6.3	147	24.1

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 144百万円 (47.3%) 23年3月期第1四半期 98百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	5.33	—
23年3月期第1四半期	5.44	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	10,833	8,141	74.3	296.78
23年3月期	11,311	8,254	72.3	301.41

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 8,051百万円 23年3月期 8,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	10.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、従来より、連結配当性向30%を目処に、期末日を基準日として年1回の配当を実施しております。今後ともこの配当方針に基づく配当を実施してまいりますので、期末配当金および年間配当金の記載を「-」と表記しております。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,300	10.9	450	2.6	480	0.1	240	19.8	8.85
通期	10,500	11.7	1,400	19.5	1,400	20.3	800	65.8	29.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	29,430,000 株	23年3月期	29,430,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	2,301,389 株	23年3月期	2,301,389 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	27,128,611 株	23年3月期1Q	27,128,656 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響により生産や輸出が減少するなど低迷を余儀なくされており、さらに東京電力の原子力発電所事故の影響から電力供給の制約も懸念され、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当社グループの属する情報サービス業界におきましても、景気の不透明感がぬぐえない状況下では不要不急のIT投資を抑制する傾向がしばらく続くものと見込まれます。

このような環境下、当社グループでは主力商品である金融機関向けのプロダクトなどを中心に営業活動を積極的に行っております。リテール業務で差別化を図ろうとする金融機関のシステム投資意欲は非常に旺盛で、前年同期に比べ受注は144.8%と順調に案件を獲得できております。

また、当社グループでは、顧客への出荷や納期が9月および3月に集中する傾向があります。

当第1四半期連結累計期間において、持分法適用の関連会社1社の株式を売却しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,226百万円（前年同期比134.9%）、営業利益は245百万円（前年同期比172.1%）、経常利益は249百万円（前年同期比119.4%）、四半期純利益は144百万円（前年同期比98.1%）となりました。

なお、当社グループは、システムインテグレーターとして顧客の業態やニーズに応じたソフトウェアを開発し、システム機器や関連商品と併せて提供するほか、情報通信ネットワークの構築・運用管理や保守サービスに至るITソリューション・サービスを単一のセグメントとする事業を行っておりますが、参考として当第1四半期連結累計期間におけるサービスプロダクトごとの概況を記載いたします。

(システムソリューション)

システムソリューションでは、金融機関向けの債権管理システムなど主力プロダクトで引き続き順調に受注を獲得しているほか、サービス向けの基幹システムも新規受注を獲得できております。また、コールセンター向けのCTIシステムでは、新たにパッケージ化したSIPコールセンターシステムの受注を相次ぎ獲得、大手外資系生命保険会社や銀行向けにBCPに基づいた新規サイトを構築したほか、コールセンター専門事業者における大規模データセンター向け通話録音システムの受注を獲得しました。小売業向け基幹システムは、震災の影響からシステム投資に慎重な百貨店が多く、既存顧客である大手百貨店から追加プロジェクトの受注獲得にとどまりましたが、前期にクラウド版を開発して販売を開始したECサイト構築パッケージでは、百貨店や専門店から受注を獲得、さらに6月にリリースしたスマートフォン対応オプションでは相次ぎ受注を獲得しております。その結果、受注は1,809百万円（前年同期比152.9%）、売上は1,523百万円（前年同期比146.1%）となりました。

(ネットワークソリューション)

ネットワークソリューションでは、スマートフォンの爆発的な需要増加に伴い、前期から取り組んでいる大手モバイル通信キャリアの携帯電話基地局向け通信エリア拡大および品質改善のためのソリューション案件で受注を大きく伸ばしております。また、電力供給の抑制が見込まれる中、大手企業はサーバをデータセンターに移設するケースが増えており、サーバのリモート管理システムの需要が拡大しております。その結果、受注は313百万円（前年同期比200.7%）、売上は245百万円（前年同期比168.3%）となりました。

(カスタマーサービス)

カスタマーサービスでは、安定収益源である保守サービスを中心に活動しており、受注は439百万円（前年同期比99.2%）、売上は457百万円（前年同期比99.0%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は10,833百万円となり、前連結会計年度末に比べて478百万円減少いたしました。流動資産は7,585百万円となり、121百万円減少いたしました。主な原因は、現金及び預金が415百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が735百万円減少したことなどです。固定資産は3,248百万円となり、357百万円減少いたしました。主な原因は、関連会社株式の売却などにより投資その他の資産が282百万円減少したことなどです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は2,692百万円となり、前連結会計年度末に比べて365百万円減少いたしました。流動負債は2,381百万円となり、118百万円減少いたしました。主な原因は、未払法人税等が299百万円、賞与引当金が254百万円減少したことなどです。固定負債は311百万円となり、247百万円減少いたしました。主な原因は、その他に含まれている長期未払金が244百万円減少したことなどです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産の部は8,141百万円となり、前連結会計年度末に比べて112百万円減少いたしました。主な原因は、当四半期純利益144百万円の計上による利益剰余金の増加、剰余金の配当271百万円による利益剰余金の減少などです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の72.3%から74.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点での業績予想につきましては、2011年4月28日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当期見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2011年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,900,089	2,315,723
受取手形及び売掛金	2,261,628	1,525,814
有価証券	2,648,373	2,648,430
たな卸資産	577,552	738,278
その他	319,287	357,344
貸倒引当金	△498	△193
流動資産合計	7,706,432	7,585,397
固定資産		
有形固定資産	742,729	760,949
無形固定資産		
のれん	4,753	4,292
その他	786,395	694,259
無形固定資産合計	791,148	698,552
投資その他の資産		
その他	2,073,893	1,790,952
貸倒引当金	△2,273	△2,273
投資その他の資産合計	2,071,620	1,788,679
固定資産合計	3,605,498	3,248,181
資産合計	11,311,931	10,833,578
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,129,583	1,021,746
未払法人税等	375,002	75,476
賞与引当金	368,700	114,300
その他	626,477	1,169,723
流動負債合計	2,499,763	2,381,246
固定負債		
退職給付引当金	166,062	163,343
役員退職慰労引当金	15,363	15,738
その他	376,601	131,941
固定負債合計	558,027	311,022
負債合計	3,057,790	2,692,268

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2011年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2011年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,124,669	1,124,669
資本剰余金	1,221,189	1,221,189
利益剰余金	6,679,581	6,552,942
自己株式	△900,696	△900,696
株主資本合計	8,124,743	7,998,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,594	53,457
繰延ヘッジ損益	424	△196
その他の包括利益累計額合計	52,018	53,260
新株予約権	69,640	83,622
少数株主持分	7,737	6,322
純資産合計	8,254,140	8,141,309
負債純資産合計	11,311,931	10,833,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)
売上高	1,650,561	2,226,390
売上原価	908,010	1,360,036
売上総利益	742,551	866,354
販売費及び一般管理費	599,758	620,660
営業利益	142,793	245,694
営業外収益		
受取利息	1,719	1,248
受取配当金	5,990	6,330
持分法による投資利益	60,858	—
その他	4,806	5,055
営業外収益合計	73,376	12,634
営業外費用		
支払利息	14	9
持分法による投資損失	—	3,807
支払補償費	5,197	—
その他	1,993	4,930
営業外費用合計	7,205	8,747
経常利益	208,963	249,581
特別損失		
投資有価証券売却損	—	36,285
特別損失合計	—	36,285
税金等調整前四半期純利益	208,963	213,295
法人税等	62,902	70,064
少数株主損益調整前四半期純利益	146,061	143,231
少数株主損失(△)	△1,425	△1,415
四半期純利益	147,486	144,646

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2010年4月1日 至 2010年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2011年4月1日 至 2011年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	146,061	143,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△47,048	1,789
繰延ヘッジ損益	△848	△621
持分法適用会社に対する持分相当額	△105	73
その他の包括利益合計	△48,002	1,241
四半期包括利益	98,058	144,473
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	99,483	145,888
少数株主に係る四半期包括利益	△1,425	△1,415

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは、システムインテグレーターとしてお客様の業態やニーズに応じたソフトウェアを開発し、システム機器や関連商品と併せて提供するほか、情報通信ネットワークの構築・運用管理や保守サービスに至るITソリューション・サービスを単一のセグメントとする事業を行っているため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。